



第36回のインタビューは「あけぼの音訳グループ」代表 市原 慶子さんです。

第36回スマイルインタビュー

音訳ボランティアを始めたきっかけは何ですか。

私は若いころに病気をして多くの皆さんのお世話になりました。40年前、世間への恩返しをと思って点字サークルに入りましたが、そのとき中途失明で点字が読めない方のために朗読ボランティアが始まりました。物売りの声が入つたりした失敗談も懐かしいですね。



意外に難しいと感じた点があれば教えて下さい。

朗読は、単に本を読むのではなく違いました。扱っているのは大切な情報なので間違ったことは大変なことがあります。1“は”はイチと読み”7“は”はナと読むなどの配慮をしてい



短期間に、かな

市民のみなさんに伝えたいことは

ります。また、りの量を一気に読むのさや声の調子を保つのも大変でした。N H K のアナウンス教室で勉強したり、体が資本なので健康にも特に気をつけています。



音訳CDを再生するプレイヤー

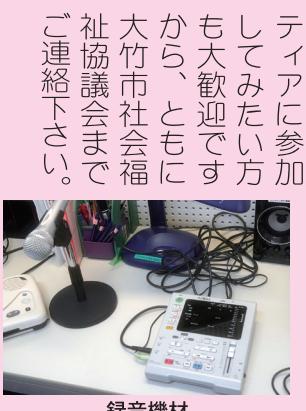
やりがいを感じるのはどんなときですか。

毎回CDが完成し利用者に発送し終えたときはほっとします。過去には投函後にカセットテープの録音不良に気付き、郵便局にお願いして回収することもあります。



利用者の方へCDを届ける専用袋

ミスを防止するため、今は必ず2人で録音しています。年間、欠かさず発行出来ることには満足しています。



録音機材

【お問い合わせ】

大竹市社会福祉協議会
TEL 0827-5212211

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



広報広聴特別委員

委員長
副委員長

細 日 山 中 藤 寺 小田上
川 域 崎 川 川 岡 尚
雅 年 智 和 公 尚
子 究 一 之 弘 章 典

中川 智之

市議会だよりをいつもご覧いただきます。広報広聴特別委員会では、いつでも委員全員が参加できるようにオンライン会議も行いました。内容も読みやすいようにとイラストや写真を多めに取り入れ、より良い市議会だより作成のため、日々検討を重ねています。コロナもまだ終息が見えず、世界情勢も不安定の中、少しでもみなさんに明るい希望がもてるようしっかり取り組んでまいります。

あとがき